

2015年度、当委員会では子どもたちにとって夢は、自らの能力の限界を突破する推進力になると考え、夢の実現に向けて困難に果敢に挑戦し続け乗り越える、あきらめない心を育むために各事業を行いました。

まずは、5月9日（土）浦安市運動公園総合体育館にて市内小学校1年生から6年生の306名が参加し、5月第一例会「第27回わんぱく相撲浦安場所」を開催致しました。本大会は子どもたちと保護者に、成功イメージを持って目標を定め、それに向けて努力する大切さを学んでもらうために事業を行いました。子どもたちは、それぞれ事前に掲げた大会目標に向けて元気一杯、一所懸命に取り組んでいました。最後の全体表彰式では保護者から全てのわんぱく力士に表彰状が手渡され、頑張りを褒められ喜ぶわんぱく力士たちを見ることができました。本大会を通して、多くの子どもたちが困難に挑戦するための心と環境を醸成することができたと考えます。

そして、9月第一例会「ドリームサポータープロジェクト」では、子どもたちが夢への道程を見失うことなく乗り越えて行く意志と自信を持つために、夢を掴む力を醸成する事業を行いました。事業構築にあたり、基本方針にある「子どもたちには、難しいことを論ずるよりも、小さな体験を多く積み重ねることのほうが重要である」という考えのもと、講演会・課外授業を一連のプログラムとしました。まずは、9月5日（土）浦安市民プラザWAVE101にて9月第一例会「ドリームサポータープロジェクト」岩崎由純氏講演会を課外授業に参加する子どもたちを対象に、保護者を交え開催致しました。講演では、今を一所懸命取り組み、お互いを認め合いながら応援し合えるサポーターが必要であることを伝え、シンプルでポジティブな言葉を使ったコミュニケーション術（ペップトーク）を映像や来場者を巻き込みながら楽しく学びました。そして、9月12日（土）富津布引海岸・君津亀山少年自然の家にて9月第一例会「ドリームサポータープロジェクト」課外授業を講演会に参加した子どもたち42名を対象に開催致しました。講演会で学んだことを実践する場として普段経験することのできない地引網や野外炊飯・横断幕作成のミッションをみんなで達成していく中で、意志(何かを成し遂げようとする気持ち)と自信(自分の価値・能力を信じること)を育むことができたと考えます。

本年度、青少年事業では子どもだけではなく保護者もターゲットにして目的の達成を図りました。また、わんぱく相撲における新規協賛の依頼・講演と屋外事業を一連のプログラムとして行う新しい挑戦をしました。この挑戦をあきらめずに成すことができたのは、委員会メンバーはもとより浦安青年会議所メンバー皆様のサポートがあったからです。最後に、夢はサポーターが多ければ多いほど光り輝き、光が増せば増すほどわがまち浦安を輝かせてくれると確信致します。一年間、本当にありがとうございました。